



地域おこし協力隊 活動日記

vol.07

協力隊員が活動の中で感じたことなどを
写真とともにお伝えします。



クリスマスリース作りの講習会に参加してきました。リースの輪には「永遠」という意味があり「生命や幸福がいつまでも続くように」という願いが込められているそうです。リースが緑色なのは農作物の繁栄を願うため、飾りの松ぼっくりや麦の穂は「収穫」、赤い実は「太陽の恵み」を表しているという説があるそうです。ホテルアルコのロビーにも大型のクリスマスツリーが設置されました。従業員の方が思いを込めて作った金色に輝く星型のオーナメントが一際目をひきます。ホテルの外壁にはプロジェクターライトで照らされたクリスマスツリーが浮かび上がり、イルミネーションの輝きでクリスマスモード一色です。



令和最初の年末年始。昨年は皆様にとってどんな一年だったでしょうか。私は令和元年の記念すべき初日に、札幌から忠類に引っ越してきました。生活が激変し環境に慣れることに精一杯でしたが、皆様の温かいお力添えのお蔭で、なんとか業務を進めることができ心から感謝しております。今までと違う土地でたくさんの人と出会い、仕事を通して成長できたという想いで、なんとか8か月間を無事に過ごすことができました。改めて皆様には大変お世話になりました。これからますます寒い時期を迎えますので、ご自愛のうえ、どうぞよいお年をお迎えください。

Instagramで
町の魅力を発信中！



MAKUBETSU TOWN NEWS



ま ち の わ だ い

町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！



12/17



「災害時における応急対策活動に関する協定」締結式 災害時の備えに万全を

災害等による大規模停電時の電力復旧に必要な応急対策活動を迅速かつ円滑に行うことを目的とした、幕別町と一般財団法人北海道電気保安協会(富樫泰治理事長)による協定締結式が行われました。

町内全域で防災意識の高まっている今、胆振東部地震で経験した未曾有の大規模停電などの有事に備え、ライフラインともいえる電力復旧に大きな期待が寄せられています。

12/12



忠類保育所おもちつき

力いっぱい「よいしょーっ！」

忠類保育所園児のお楽しみ、おもちつきが行われました。大きな臼を囲んで「よいしょーっ！」と大歓声の中、一人ひとりが力いっぱい杵を振りおろしていました。

自分でついたモチはとてもおいしくて何回もおかわりをする姿が見られました。



12/1



100歳の長寿を祝う

田村ナツエさん100歳

田村ナツエさんの百歳を祝う会がふらっと忠類で開かれました。ナツエさんは賢一さんと結婚後3男2女をもうけ、現在は孫10人、ひ孫13人に恵まれ、平成24年からふらっと忠類に入居しています。会では飯田町長からお祝いの言葉が贈られました。



12/18



幕別清陵高等学校SDG s 発表会

総合的な探究成果を発表

幕別清陵高校1年生が、「SDG s (持続可能な開発目標)」の達成に向けたプロジェクトの発表会を行いました。「総合的な探究の時間」に調査・研究したもので、自分たちができることから地域や企業との連携など12グループが具体的な取組を提案しました。



12/16



車椅子の寄贈並びにお礼状の贈呈式

車椅子をご寄贈いただきました

一般社団法人十勝地区トラック協会青年部会が毎年継続的に実施している車椅子寄贈事業として、伊藤好男幹事と中藪秀則係長が来庁され、車椅子のご寄贈いただきました。

町長から「寄贈いただいた車椅子は、札内の暁町近隣センターに配置し、利用者の利便性向上に活用させていただきます。」と感謝の意を込めたお礼状が手渡されました。

12/16



忠類産黒毛和牛ハンバーグ給食

満面の笑顔で「おいしい！」

忠類和牛改良組合から忠類の保育所・小中学校、駒畠保育所に和牛ハンバーグ233個が提供されました。

忠類小4年生はハンバーグの美味しさに笑顔。一緒に給食を共にした蛸原一組合長に「来年も食べたいです！」とアピールしていました。

